

I 調査概要

1 調査目的

平成19年3月に策定した「改定練馬区障害者計画(計画期間:平成19年度から22年度)」の見直し、「次期練馬区障害者計画」を策定するため、障害のある区民の意向を把握するアンケート調査を行い、計画策定の基礎データとして活用することを目的として実施した。

2 調査対象

身体障害者手帳所持者、愛の手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者から、合計5,000名を無作為抽出した。抽出率は、各手帳所持者の概ね20%程度を目安とした。また、施設入所者の意向についても把握するため、入所者のうち、知的障害者80名、身体障害者20名の合計100名を無作為抽出した。

※平成22年3月31日現在

	身体障害者手帳	愛の手帳	精神障害者保健福祉手帳	施設入所者
手帳所持者数	18,672	3,655	3,739	412
対象者数	3,600	650	650	100

【身体障害者数内訳】

	障害者	対象者数
視覚障害	1,434人	290人
聴覚平衡機能障害	1,636人	320人
音声言語機能障害	240人	50人
肢体不自由	9,652人	1880人
内部障害	5,710人	1060人

3 調査時期

平成22年6月～7月

4 調査方法

郵送配付・郵送回収

5 回収状況

	対象者数	回収数	有効回収数	有効回収率
身体障害者	3,600	2,074	2,064	57.3%
知的障害者	650	353	350	53.8%
精神障害者	650	314	311	47.8%
施設入所者	100	95	94	94.0%
合計	5,000	2,836	2,819	56.4%

6 主な調査項目

基本属性

- ・ 性別、年齢、調査票の記入者、居住場所、居住形態、同居者、障害の程度 等
- ・ (身体障害者手帳保有者のみ) 障害の種類

介助・援助の状況

- ・ 主な介助・援助者、介助・援助を受けている場面、介助・援助者不在時に希望する対応 等

日中の過ごし方

- ・ 日中の主な過ごし方

教育について

- ・ 通園・通学先、通園・通学するなかでもっと充実してほしいこと

雇用・就労について

- ・ (就労者のみ) 就労形態、職場の所在地、1年間の就労収入、仕事をする上での不安や不満
- ・ (非就労者のみ) 今後の就労意向、希望する就労形態、働きたいが働けないと思う理由
- ・ 働くために整っていることが大切だと思う環境

外出や社会参加の状況

- ・ 外出頻度、外出の際に困っていること、最近の活動状況、近所づきあいの状況 等

健康状態や医療について

- ・ 健康診断(健康診査)の受診状況、健康管理・医療について困ったことや不便なこと 等

相談や情報入手について

- ・ 悩みごとや心配ごとの相談先、障害福祉サービスなどの情報の入手先 等
- ・ (精神障害者のみ) 悩みごとや心配ごとの相談方法
- ・ (身体障害者のみ) コミュニケーションの手段・機器等の利用状況 等

障害福祉サービスについて

- ・ 最近 1 年間に利用したサービス、今後利用したいサービス、必要だと思うサービスが十分利用できているか、サービスを利用しやすくするために必要なこと 等

将来について

- ・ 希望する日中の過ごし方、将来、暮らしたい場所、練馬区への居住継続意向

災害対策や消費者被害について

- ・ 災害時の避難場所の認知状況、災害に備えて必要と思う対策、消費者被害の状況 等

差別や人権侵害について

- ・ 差別や人権侵害を受けていると感じることの有無、地域での障害に対する理解の状況 等

障害者施策全般について

- ・ 練馬区に充実してほしい施策、意見・要望

障害の表記について

- ・ 希望する障害の表記、その表記を希望する理由

介護・援助者の意向

- ・ 介助・援助するにあたって、困っていること、将来、本人に暮らしてほしい場所 等
- ・ (施設入所者のみ) 地域で暮らすことの可能性 等

【この報告書における調査結果の見方】

【数値等について】

- 調査結果のグラフの数値は、回答率（％：パーセント）で表示している。（％）の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数は全体及びnで示している。
- （％）の数値は、小数点第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため各回答の数値の合計が必ずしも100.0%とならない場合がある。
- 回答は、単数回答（○は1つ）と複数回答（○はいくつでも）の2種類がある。複数回答設問の場合、その回答割合（％）の合計は100.0%を超える場合がある。
- 各項目について、グラフ等が複数ページにまたがる場合は、囲みの中に全体的な傾向についての分析結果を記載したのち、各障害の結果を掲載している。
- 必要に応じて、年齢区分別、障害の程度別、障害の種類別（身体障害者のみ）、主な介護・援助者別等の傾向について分析している。なおこれらの分析において、例えば年齢区分別の場合、年齢無回答については数表に表記していない。そのため、0～17歳の回答者数と18～64歳の回答者数、65歳以上の回答者数の合計は全体の回答者数の合計と一致していない。障害の程度別など他の分析についても表記は同様である。
- 図表やコメント部分での回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。なお、数表において問番号に*がついている場合は、選択肢等を統合するなどの加工をしている。正式な回答の選択肢は、調査票を参照のこと。